

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2018. 6



学校法人 四国高松学園

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

新入生を歓迎! 学部・学科別に学外セミナー



四月中旬に、発達科学部、経営学部、保育学科、秘書科の学部・学科ごとに新入生・在学生・教員との相互交流を図り、親睦を深めることを目的としたセミナーを開催した。発達科学部は、教育職をめざす学生としての心構えや態度を育てることを目的に二年生が企画・運営を行い、小豆島や豊島、直島でのフィールドワークと宿泊研修を実施。経営学部は、スポーツ大会や学生会館での懇親会、ユニバーサルスタジオジャパン



で親睦を深めた。保育学科は、淡路島の自然の中で学生間の親睦と研究室の結束を図った。秘書科は、市内のホテルにおいてテーブルセッティングおよびテーブルマナーの実習を行い、秘書的センスを磨いた。なお、秘書科は五月にユニバーサルスタジオジャパン、保育学科は六月に県内とらまる公園でもセミナー予定。このセミナーを導入として、新入生の大学生活が有意義で充実したものとなることを期待したい。

短大創立五十周年記念ロゴマーク誕生

昭和四十四年に創立した高松短期大学は、平成三十一年に五十周年を迎えます。地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

本学では、これまでの五十年の歩みを記念し、これからの五十年への飛躍を願ってロゴマークを制作しました。元高松短期大学保育学科教授の小西博子氏によるデザインで、今後様々な媒体で活用していきます。くわしは本学ホームページをご覧ください。



2018

オープンキャンパス

6月16日(土) 7月21日(土)
8月18日(土) 9月15日(土)

※無料送迎バス(要予約)、ランチサービスあり!

お問い合わせ先 入学センター
0120-78-5920

発達科学部 子ども発達学科

■新入生歓迎セミナー

発達科学部子ども発達学科二年

菊地 歩



今年度新入生歓迎セミナーのテーマは、「Steel」

三つの島を感じよう！」でした。テーマには、「触る・体で感じる・心で感じる」の三つの感じ方を通し、小豆島直島、豊島の三つの島の良さを学び感じ取ってほしいという願いを込めました。

初日は三島に分かれ、島の豊かな自然、歴史や産業、島が抱える問題等に触れながら体験学習を行いました。

二日目は小豆島で避難訓練や前日の学びを題材にしたビンゴゲームを行い、最終日は大学で「リメンバー・ヤング・ミラー」というテーマで子ども達の発達段階に応じた遊びや競技を行いました。

この三日間で一年生を始め二年生や先生方の最高の笑顔を見ることができました。これは先生方や先輩方が積み上げてきたものがあつたからこそその成果であり、新歓セミナーは実行委員会が作るのではなく発達科学部全体で作っていくものだと改めて感じました。

■幼保採用試験対策講座

発達科学部では、市・町の

保育職採用試験対策として面接指導講座を開催している。今年度実施の採用試験を目指し、二月のガイダンスをスタートに、現在四年生十五名が登録し、熱心に受講している。

講座では、実際に行われる面接を想定した実践的な演習が行われている。受講生は担当の特別指導員の先生から面接のマナーや



設問の返答に對する具体的な指導を受ける。そして、自分の課題を明確化し、設問に対する回答を文章にまとめ、添削指導を受ける中で自分の言葉で自分を語る力をつけていくのである。

今後は、各市町の面接試験にに応じて集団面接、集団討議、個人面接など様々な方法を取り入れて演習を行っていく予定である。

高松大学

経営学部 経営学科

■絆を深めた学外セミナー

経営学部経営学科一年 井戸明日香

私は四月十日



九日から二日間、学外セミナーに参加しました。

一日目のスポーツ大会ではバレーボールをしました。その後の懇親会では、イントロクイズが行われました。私は一曲だけ正解することができました。そして、ゼミのみんなどたくさん話をすることができました。

二日目は大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行きました。友人とアトラクションに乗ったり、たくさんお土産を買ったりしました。はじめてUSJに行つてたくさんのお土産ができました。

この学外セミナーで親しい友人はもちろん、ゼミの仲間とも絆を深めることができ、とても楽しく充実した二日目を過ごすことができました。



また、楽しいオリエンテーションを企画してく

■「インターシップII」報告発表会

ださった先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを胸に今後の学生生活も頑張っていきたいです。

四月二十六日、「インターシップII」報告発表会が実施された。この報告発表会では、三名の学生がインターシップでの体験内容、そしてインターンシップを通じて学んだことについてパワーポイントを用いて報告を行った。

この報告発表会には、インターンシップ体験先の企業や団体からも多くの方々に参加を頂いた。そして、学生に対してインターンシップで良かった点や、企業や団体の求める人材像についてご指導を賜った。

就職活動を控えた学生にとって、この報告発表会は、とても貴重な経験になっただろう。今後も、より多くの学生がインターンシップに参加し、そこでの経験が学生の成長の一助になることを願っている。



また、楽しいオリエンテーションを企画してく

探訪/研究室

経営学部経営学科 末包 昭彦

●自己紹介



大学にきて六年が過ぎました。故郷の良さを実感しています。商業業態論や企業調査入門など、経営学の基礎となる科目を教えています。また、地域連携活動も担当しています。

●ゼミナールの特徴
地域との連携を重視した研究が中心です。「むれ源平石あかりロード」などのボランティア活動も行っています。しかし、ゼミ生が興味を持った内容であればどんな研究でも大丈夫です。

●ゼミ生へ一言
自分の目で見て、自分の頭で考え判断して、そして自らの意思で行動できる人になってください。そのためには、大いに悩んでください。

●二十歳の時の自分
高校入学から始めた水泳が、レギュラーを外される大スランプに陥り毎日悪戦苦闘していました。一年間悩みぬいてスランプを脱した時、新しい世界が見えました。

保育学科

たくさんのお話を学んだ 新入生歓迎セミナー



保育学科二年 藤嶋 珠来

新入生歓迎セ
ミナーで淡路
島牧場とイン

グランドの丘へ行きました。

淡路島牧場では牛の乳しほりとバター作りを体験しました。牛に触ることやバターを作ることは初めてで、貴重な経験をすることができました。その後、友達や先輩方とたくさん話をしながらバーベキューを楽しみました。

イングランドの丘では、たくさんさんの動物と触れ合ったり写真を撮ったり、とても楽しい時間を過ごしました。パーク内には木が顔の形になっていたり木の柵のトゲが刺さらないように

なっていて、いたり、様々な所に子どもが興味を持って遊ぶような工夫がありました。



夫や安全に楽しく遊べるような工夫がありました。

この新入生歓迎セミナーで友達や先輩方と仲を深めることが出来たと思います。

夢を叶える第一歩

保育学科では平成二十九年

高松短期大学

秘書科

学外セミナー



秘書科二年 大坪 理子

高松国際ホテルでテーブルセッティングとテーブルマ

ナーを行いました。

テーブルセッティングでは、クロスの長さなど、はじめて教えていただいたことも多く、きめ細かなご指導のおかげで私たちのテーブルも綺麗にセッティングができました。

さらに講師の方がテーブルを回りながら質問をしてくださり、良い緊張感を持ちながらテーブルマナーの実際も学べました。なかでも壇上での乾杯の実演はわかりやすかったです。

ミニ講演では、企業が求める人材について詳しくお話いただきました。特に経験値を積んでほしいというお言葉が印象に残りました。

残りの大学生活のなかで、自分自身が体験し、それを通じて視野を広げることが大切なのだと思います。



「さぬきマルシェ」で体験学習

秘書科では、職業人、社会人として必要な能力や態度を育成するための取り組みの一つとして、一年後期の授業「ビジネス実務総論」、二年前期の授業「ビジネス実務I」で、サンポートの「さぬきマルシェ」に学生を参加させていただいています。



出店者の皆様にお話しして、お店をお手伝いし、お客様への商品説明や販売等を行っています。その結果、出店者の方々やお客様とコミュニケーションが取れ、香川県の物産について知識を得るなど様々な分野で成長が見られ、優れた職業人、社会人となるための格好の体験学習になっています。

二年次には、一連の授業のまとめとして学生がグループ単位でマルシェに出店し、運営するという課題が与えられます。協力してやり遂げたときの学生の顔は自信に満ちています。

探訪/研究室

自己紹介

保育学科 中村 多見



皆さん、こんにちは。保育学科の中村です。心理学研究室を担当して、今年で十五年目になります。研究室で担当した学生数も百四十名を超え、保育者としての活躍はもちろんのこと、最近ではその子どもたちも次々と生まれていて、みんなに会う度にとっても嬉しく大きな幸せをもらっています。

●研究室の学生へ一言

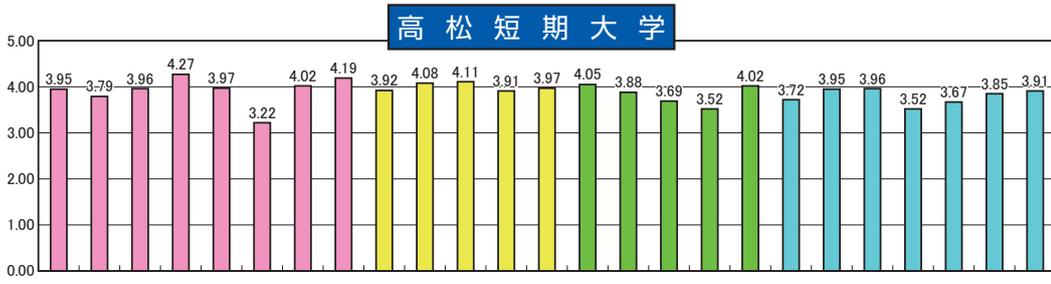
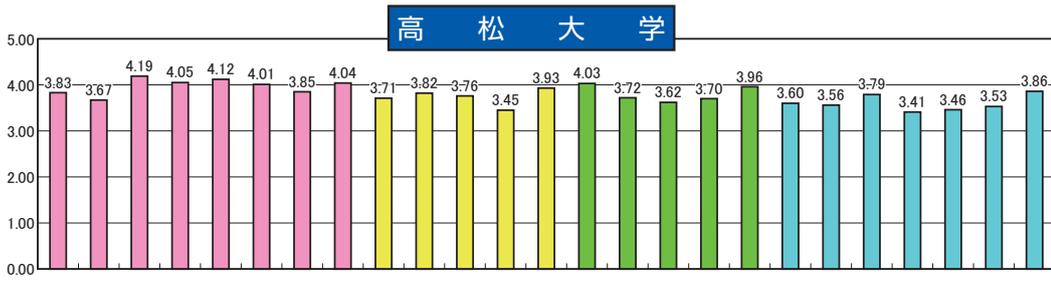
卒業後もつながり合える良き仲間・先生との関係を育んでいきましょう！

●二十歳の時の自分

親元を離れ、一人暮らしをしていました。仲間との時間、一人の時間を上手に過ごせるようになったのが二十歳頃だったかもしれません。いろんな意味で自立(自律)しようとしていました。

平成二十九年度 満足度アンケート結果報告

学生の在学期間内の満足度を調査することにより、教育支援と施設整備ができていくかを把握し、今後の教育改善



キャンパス内の庭園や花壇の整備、美化の状況 休憩したり、友人と話し合ったりするスペースの整備状況 運動のための施設の整備状況(体育館、グラウンドなど) 食堂・売店のメニュー・品揃えや利用時間など 図書館の本・雑誌・各種資料の整備状況と利用時間など 自習のためのパソコンの台数や利用時間など 教室、演習室、実習室など教育施設の整備状況 就職活動や進学のためのサポート体制 クラブ・サークル活動に対するサポート体制 経済的に困った時のサポート体制(奨学金制度や学納金の分納など) 大学生活で困った時の相談窓口やサポート体制 先生との交流・日常的な会話や大学生活について話し合う機会(合宿) 先生に相談した時の対応(時間割の作成や学習の仕方、また進路のことなど) 課外講座や検定試験を受ける機会 免許・資格・検定取得につながる授業の充実度 専門科目での学習結果(専門的かつ高度な知識の修得) 教養科目での学習結果(幅広い知識の修得と人間形成) 自分の卒業後の進路(就職先、進学先など) 在学期間での自分の成長 クラブ・サークル活動 事務職員への対応 友人との出会い 先生との出会い 授業について 本学に入学して

- 【評価方法の説明】 1. アンケートの回答方法は、「全く満足でない」、「あまり満足でない」、「どちらともいえない」、「かなり満足」、「非常に満足」の5段階で、評価値は1~5とした。 2. 集計方法は、5段階評価値を平均し、その項目の評価値とした。

に役立てることを目的に、毎年度卒業予定者を対象に満足度アンケートを実施している。短大では「先生との出会い」が一番高い評価となっている。また、大学、短大とも「先生との交流」、「友人との出会い」、「自分の卒業後の進路」が高評価となっており、友人や先生との交流及び自分の進路に満足できる結果が得られたことがうかがえる。 記述では、「学生一人一人

発達科学部准教授 竹田 忠弘 ①英語(英語) I・II、英語 III・IV、外国語活動(英語) 指導法研究) ②坂出市出身。高松北高出身の広島東洋カープ壘江教哉投手の大ファン。好きなことは書道。香川カクタスクラブ会員。

発達科学部教授 七條 正典 ①教育学(道徳教育論、特別活動論、生徒・進路指導論、教育相談等) ②かつてサッカー少年だったこともありすが、現在は、スポーツとは無縁の生活をしています。食えることが大好きです。

に目が行き届いている」、「就活の対策がとてども丁寧で手厚かった」などの良い意見に対し、大学に対する要望も記されていた。

人事異動 採用(平成三十年四月一日付) 【大学】 発達科学部教授 七條正典 発達科学部准教授 竹田忠弘 【短大】 秘書科助教 佐藤麻衣 退職(平成三十年三月三十一日付) 【大学】 経営学部教授 植木英治 発達科学部教授 岡田泰士 【事務局】 総務部総務課総務係主任 伊藤由花里

秘書科助教 佐藤 麻衣 ①秘書、医療 秘書(人間関係論、医療秘書概論) ②岡山県出身。旅行やドライブが好きです。働きやすい職場を労働者自身が創りだす、そんな研究をしています。

新任教員のプロフィール ①専門分野(授業科目) ②自己紹介 こういった意見・要望を踏まえ、改善策を検討し、学生のための大学づくりに、より一層力を入れていきたい。

「高松教養大学」卒業式 および第五期生入学式挙行

「高松教養大学」の第四期生卒業証書授与式が三月十九日に多目的ホールで行われ、佃学長から卒業生一七名それぞれに卒業証書が手渡され一年間の学びを締めくくった。



また、四月十一日には第五期生の入学式が図書館ホールで行われ、入学生一三名を代表して榎征四郎さんが入学許可書を受け取った。卒業したばかりの四期生も同窓会「春友会」代表の来賓として三名が参加し、式後のオリエンテーションでは在学時の活動の様子や思い出話も含めながら入学生に受講のアドバイスをした。

既に講座に参加している入学生もおり、これからの活発な活動が期待される。

ジェンテラル・ステイル マン大学での模擬講義

三月十二日、インドネシアのジェンテラル・ステイル

マン大学において、経営学部の岡本先生が、「Japanese Management System」というテーマで英語による講義を行った。



本講義では、「日本の経営」や「日本における生産管理システム」の現状が

講義された。

「日本における生産管理システム」の説明では、最小のインプットで最大のアウトプットを実現するためには、職場における「三ム」と呼ばれる「ムダ・ムラ・ムリ」を徹底的に排除するべき、との説明が行われた。この内容には、多くの学生が熱心に聞き入っていた。

また、四年生(当時)の藤澤君は、英語で岡本先生の講義をサポートするとともに、

二年生(当時)の水口君は大学で勉強している日本の管理会計システムと生産管理方式の

関係を説明



した。日本のことを海外で英語を用いて紹介する非常に有意義な機会であるとともに、学生にとっても将来のためになる体験であった。

防犯対策・交通安全講習会

四月四日、防犯対策・交通安全講習会を



安全講習会を開催し、新入生約三百余名が参加した。

署交通課、生活安全課の職員の方を講師に招き、新生活を始める学生が事故や犯罪に遭わないようにと平成十四年から毎年開催している。

防犯対策講習では、SNSや携帯アプリの使い方などの心得について講話があり、交通安全講習では、増加している自転車事故や、初心者による自動車事故など、若者による交通事故の特徴について説明があった。新入生はトラブルに会わないよう、気を引き締める思いで聴講した。

高松大学・高松短期大学杯 近県高校バレーボール大会

本学主催の近県高等学校女子バレーボール大会を五月六日に開催。八校が出場し、

トーナメント戦で優勝を争った。結果は次のとおり。
【第二十七回大会・短大杯】
優勝 高松南高校(香川)
準優勝 高砂高校(兵庫)
第三位 岡山南高校(岡山)

入園式を終えて

認定こども園高松東幼稚園 園長 中塚 勝俊

東幼稚園が認定こども園に移行して2年目の入園式を無事終えることができました。本来は幼保連携型の名が示す通り、0、1、2歳児(未満児)と3歳児の入園式を一緒に行うべきなのですが諸事情により別々の日に執り行うことになりました。未満児30名の入園式は、賑々しく微笑みに満ちた式を迎えることができました。

3歳児の入園式は総勢120名、午前と午後に分けて式を行いました。式が進行するにつれて、多少疲れも手伝ってか会場が賑やかになったころ桜組(5歳児)のお姉さんお兄さん達が歓迎の言葉に続き園歌を歌い始めると会場は静まり返り、全入園児がステージを見つめ静かに聞き入っていました。



わずか2歳の年齢差でありながら会場を静まり返らす年長児の能力は見事でした。このようにして厳かな雰囲気の中にも温かい手作り感に溢れた式を終えることができました。桜組のお友達ありがとうございました。今からは桜組さんが園のリーダーです。よろしくお祈りします。

春の叙勲受章

平成三十年春の叙勲に本学から長年にわたる教育界へのご功勞により大学経営学部教授の溝瀆利博先生が受章された。

▽瑞宝小綬章

溝瀆 利博（大学経営学部教授）平成二十二年より大学発達科学部講師に就任。平成二十三年より入学センター長、生涯学習教育センター長、地域連携センター長を歴任。

「げんき村わんぱく通り」みんな子育て応援団大賞受賞

三月八日、子育て支援に積極的に取り組んでいる団体等を表彰する「みんな子育て応援団大賞」の表彰式が香川県庁で開催された。

キラリ☆輝く人
「かがわ介護のえほん」作画担当



保育学科2年
香川 捺さん

介護の仕事の素晴らしさを児童に伝え、興味をもってもらうため、香川県が作成した「かがわ介護のえほん『うれしいな おばあちゃん笑顔』」で第2話の作画を担当。昨年度、本学非常勤講師津田浩二先生の指導のもと取り組んだ。

「絵本の制作を通して介護について知るととてもいい経験をさせていただきました。この絵本を読んで少しでも興味をもってもらえると嬉しいです」と感想を述べてくれた。

高松市観光マップ
「びびんぐ」作成

「日頃からご支援くださっている地域の方々、また先輩方・先生方への感謝を忘れず、今後も子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう、げんき村住人一丸となつて活動したい。」と語った。



本学からは「げんき村わんぱく通り」が知事賞に選ばれ、浜田知事から、げんき村十丁目村長 木村未奈さん（発達

topics

高松商工会議所と高松大学が高松市中心市街地の観光マップ『TAKAMATSU CITY GUIDE BOOK「びびんぐ」』を作成した。

この観光マップは、本学と高松商工会議所との間で締結された共同研究計画「高松市中心市街地観光マップ作成事業」に基づき作成されたもので、経営学部 正岡利朗教授の指導のもと本学経営学部の

学生が携わったもの。二十〜三十代の女性をターゲットにした観光スポットやスイーツ店などの情報が掲載されている。観光マップは三千部発行され、観光案内所やホテルバスの乗車券販売所などに配下、高松商工会議所ホームページにも公開されている。

また、三月二十二日には高松商工会議所で完成報告会があり、正岡教授、本学学生が参加し、取材を受けた。



第69回四国地区大学総合体育大会参加予定一覧		
競技種目	実施予定日	競技会場
サッカー	6月23日(土) 24日(日)	香川県総合運動公園サッカー・ラグビー場 香川県総合運動公園第2サッカー・ラグビー場 四国学院大学サッカー場
卓球	6月21日(木) 22日(金)	坂出市立体育館
ハンドボール	6月30日(土) 7月1日(日)	高松市香川総合体育館
ソフトテニス	7月6日(金) ~8日(日)	香川県総合運動公園テニス場
バドミントン	7月6日(金) ~8日(日)	坂出市立体育館
バレーボール	7月7日(土) 8日(日)	善通寺市民体育館
フットサル	7月14日(土)、 15日(日)	とらまるてぶくろ体育館

編集後記

☆短大創立五十周年を迎え、ロゴマークが誕生しました。今後は記念誌の発刊等事業計画を進めていきます。

☆たーちゃんのテレビCM放送中。ぜひご覧ください。

☆今号より編集担当になりました。本学園の元気なお便りをお届けしていきます。よろしくお願ひします。

(N)



たーちゃんの紙芝居に新作「たーちゃん まるがめじょうにいく」が誕生しました。

平成25年度の「たーちゃん やしまにいく」から始まり、26年度の「たーちゃん りつりんこうえんにいく」、27年度の「たーちゃん おおくぼじにいく」、28年度の「たーちゃん つだのまつばらにいく」に続く作品です。

たーちゃんの紙芝居は、発達科学部読み聞かせ隊の学生が考えて制作したオリジナル作品で、今後、読み聞かせ隊が参加するイベント等でお披露目されます。また、ホームページからも動画を視聴できますので、ぜひご覧ください。